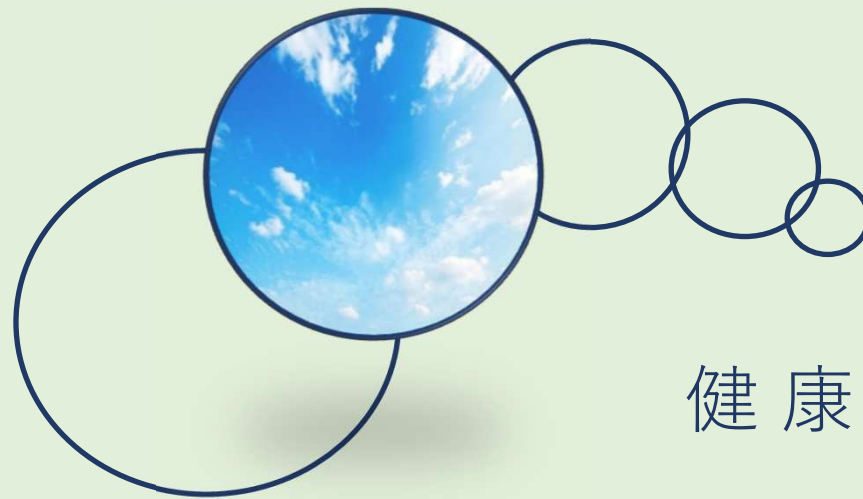


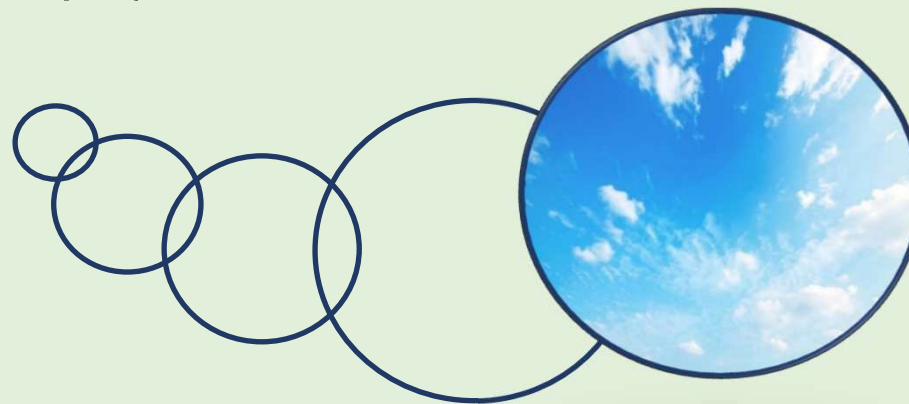


健康経営白書2025

一般社団法人衛生文化協会 城西病院



城西病院



健康宣言

職員が心身ともに健康であることは、組織運営上の基本です。

健康を基盤に安心・安全な職場環境が形成され、各々が能力を発揮する

ことで患者・顧客に対し価値あるサービスが提供できます。

我々は“地域の皆様に「よかった」と言ってもらえるような医療・介護

サービスの提供をしていく”、という法人の理念を実践していくために

も、職員の健康保持・増進を積極的に取り組んでいきます。



一般社団法人衛生文化協会 城西病院

理事長

玉城 成雄

理事長メッセージ

『健康経営の位置づけ』

当院は2021年に健康経営宣言し、その一環で様々な健康推進に関する施策を実施しております。職員の皆様が健やかに働き続けることこそ、患者・受診者に対しより高いレベルで価値ある医療サービスを提供できると確信しています。健康推進活動を通して、健康上の課題を抽出・解決し続けることで、職場環境改善・向上を図っていく所存です。

重点施策

健康診断

- ・職員の健康診断受診100%の徹底する。
- ・再検査・精密検査等の受診率を2028年までに100%にする。
- ・女性特有のがん検診の受診率を2028年までに80%にする。

健康対策

- ・特定保健指導の実施率を2028年までに80%にする。
- ・禁煙対策を実施を実施し、2030年までに喫煙率0%を目指す。
- ・生活習慣病予防のため、運動習慣を改善し、2028年までに運動実施率(30分以上週2回)を30%にする。
- また、食習慣の見直し機会を増やし、朝食を食べる人の割合(欠食の防止)を2028年までに80%にする。

労働環境の改善

- ・業務効率化を促進し、働きやすい職場環境を形成する。
- ・法律で定められた時間を超える残業0を徹底する。
- ・管理職も含め、職員の有給休暇取得率100%を目指す。
- ・働き方に応じた時差出勤を実施する。

心のケア

- ・心の健康づくり計画を基に「4つのケア」を実施し、メンタル不調の予防・発見・早期治療に繋げる。

* 4つのケアとは・厚生労働省が定める『事業場における労働者の心の健康づくりのための指針について』

- ①セルフケア ②ラインケア ③事業場内産業保健スタッフによるケア
- ④事業場外資源によるケア

主な取組

運動習慣の改善

- ・理学療法士による運動を促進する体操教室を月に2回実施し、正しく効果のある運動方法を習得し、日々の習慣化を促す。

食生活改善

- ・産業医、保健師、管理栄養士による食生活改善セミナーを実施。つい不規則になりがちな食生活を見直す。

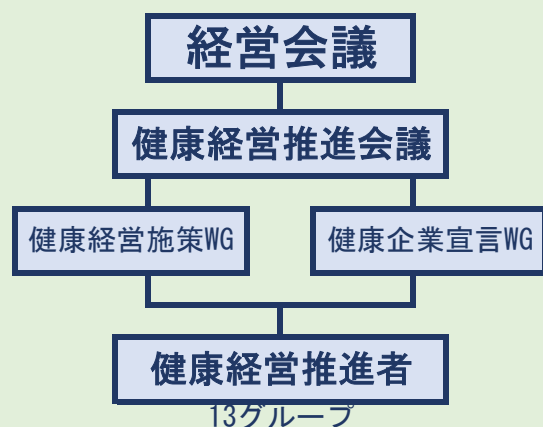
全員参加の取組

- ・グループリーダーの『健康経営推進者』を中心に、職員全員参加し、決められた目標に向けて取り組みを実施する。

がん検診

- ・職員の受診負担軽減のために、各種がん健診をWEBで簡単に予約可能とし、1年を通して自院で受診可能とする。

健康経営体制



健康経営推進会議メンバー

議長 玉城 成雄 理事長

(医師・健康経営アドバイザー)

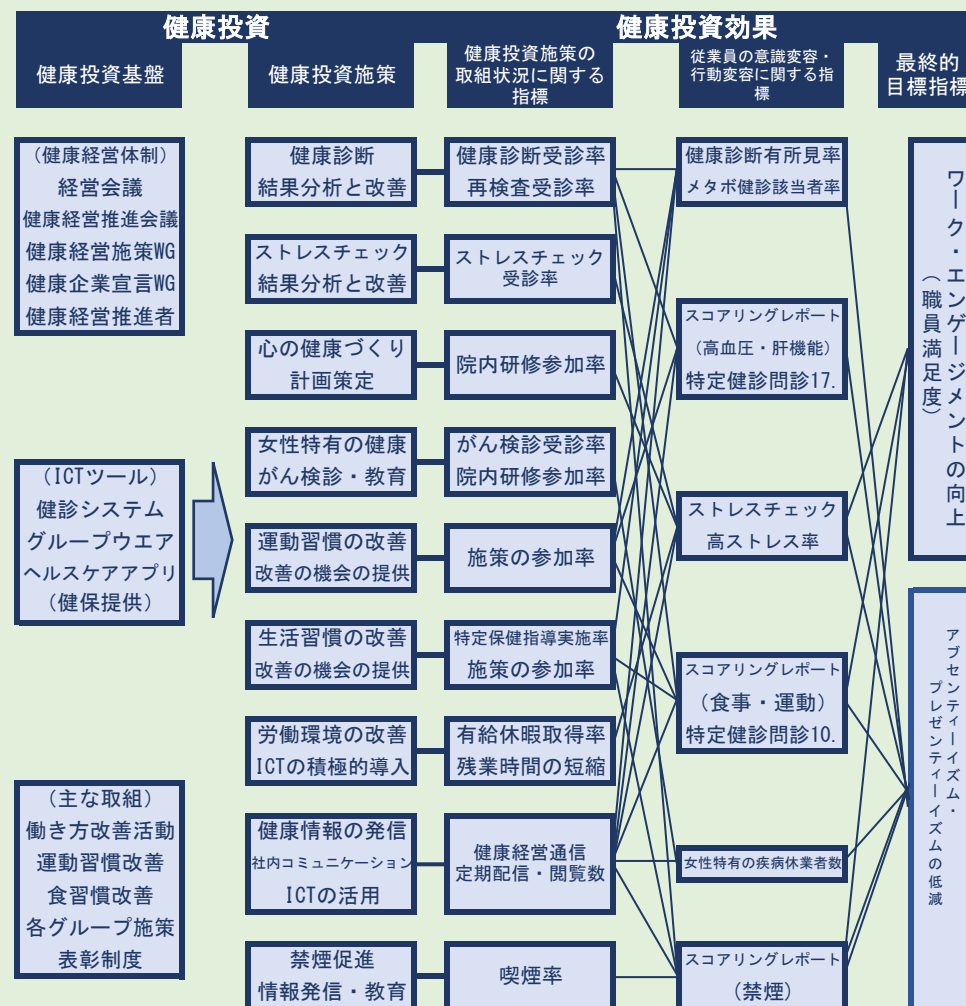
副議長 小石川 知史 予防医学部長

(衛生管理者・健康経営エキスパートアドバイザー・健康マスターエキスパート)

- ・ 白崎 由佳子 産業医
(医師・健康経営アドバイザー)
- ・ 加々爪 恵美子 保健指導課係長
(保健師・健康経営アドバイザー)
- ・ 田中 綾 施設健診課課長・メンタルヘルス推進担当者
(衛生管理者・健康経営アドバイザー・健康マスターエキスパート)
- ・ 小金澤 淳 巡回健診課課長
(衛生管理者・健康経営アドバイザー)
- ・ 佐藤 薫 健診データ管理課主任
(衛生管理者・健康経営アドバイザー・健康マスターエキスパート)
- ・ 鈴木 結希 医事課
- ・ 板橋 京子 デジタル担当

* 労働安全衛生委員会並びに産業医、健康保険組合と連携

健康経営戦略マップ



健康経営で解決したい課題

『職員が心身ともに健康で働き、
患者・顧客に対し価値あるサービスを提供する』